

指定管理施設事業評価票(平成30年度分)

1. 施設所管課 **健康福祉部 高齢福祉課**

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市足尾保健・高齢者生活福祉センター「銅やまなみ館」		
	所在地	日光市足尾町赤沢3-23		
指定管理者	名称	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会		
	代表者名	会長 高橋 務		
	住所	日光市今市511-1		
指定期間	平成27年4月1日	～	令和2年3月31日	5年間
選定方法	公募		評価実施年	5年間のうち4年目
施設設置目的	市民の健康づくりと高齢者の福祉の向上を図るため。			
主な実施事業	・居住事業 ・施設の維持管理			

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 利用人数の増(延べ人数)	人	6,000	7,381	6,000	5,063	7,620	5,809	7,197	4,908		
b 利用者満足度	%	80	85	80	85	80	74	80	65		
c 前年度経費に対する経費低減	%	5%減	22%減	2%減	12.5%減	2%減	4.1%増	2%減	5.5%減		
d 前年度収入に対する収入増加	%	20%増	8%減	5%増	20.9%減	5%増	10%減	現行収入の維持	12%減		
e 職員研修実施	—	実施	実施	1人1回参加	実施	1人1回参加	実施	1人1回参加	実施		
f 避難訓練の実施	回	実施	1	実施	1	実施	1	実施	1		

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収入計 A	39,408,580	20,618,462	18,893,460	18,767,049	0
指定管理料	23,150,000	19,447,000	17,847,000	17,847,000	
利用料収入 C	16,138,580	1,171,462	1,046,460	920,049	
自主事業収入	0	0	0	0	
その他	120,000	0	0	0	
支出計 B	39,350,997	18,773,510	19,246,428	20,292,885	0
指定事業費	39,350,997	18,773,510	19,246,428	20,292,885	
内人件費 D	26,298,219	7,963,367	7,990,500	8,854,226	
内外部委託費 E	1,970,414	2,002,314	2,021,135	2,070,364	
自主事業費	0	0	0	0	
事業収支 A-B	57,583	1,844,952	-352,968	-1,525,836	0
人件費率 D/B	66.83%	42.42%	41.52%	43.63%	#DIV/0!
外部委託比率 E/B	5.01%	10.67%	10.50%	10.20%	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	平成28年度に通所介護事業を廃止した。
------	---------------------

サービス改善の状況

フリールーム、談話室を活用した地域樹民の情報交換、交流の場の促進を図った。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者自己評価	施設所管課評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B B B	B B B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。 外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B B	B B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。 個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B B	B B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B B	B B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B B	B B
	連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B B	B B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。 避難経路が適切に確保されている。	B B B	B B B
	総括	<b>「業務の実施体制」に関する評価【17項目】</b>	B	B
	② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、閉館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B B
利用者対応		利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。 言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A A A	B B B
事業運営		事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に沿った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B B B	B B B
維持管理		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B B B	B B B
環境配慮		環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
広報活動		事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
苦情等対応		要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B B	B B
利用者アンケート		利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B
利用状況		利用実績は、目標水準である。	B	C
総括		<b>「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】</b>	B	B
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
総括	<b>「経費の収支等」に関する評価【4項目】</b>	B	B	
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価)			
	協定書並びに事業計画に基づき、概ね良好に施設の管理運営を行うことができた。			
	施設の利活用については、保健・福祉活動の拠点という認識の下、利用促進の働きかけとともに、公平性を担保しながら快適に活用いただけた。			
	また、経費の見直しなどの工夫により、経費削減にも取り組むことができた。			
	主な課題としては、生活支援ハウス入居者の確保、施設の老朽化(修繕増)が挙げられる。			
(所管課評価)				
利用者数が目標数よりも大幅に下回っているが、地域の人口減少等を考慮すると、地域福祉の拠点として地域に根づいた施設運営を行っていた。				
男性の利用者数が女性よりも大幅に少なく、男性の利用者を獲得する工夫が必要である。				
前年度総合評価	B(良好)		総合評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。	総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。		B(良好) = A、C以外
	C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。		C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			